

植えしもたれぬ

虫さす心たぬ

養の学

火事かげに

飛ぶ胡蝶



八頃葉子派演奏會

命を

平成三十年十一月十八日(日)

開場 午前十時三十分

開演 午前十時

日本橋 三越劇場

三越劇場演奏會

暮秋の候、皆様にはご機嫌麗しくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

蓼派は昭和二年に、初代家元蓼胡蝶が公式に流派登録をして以来九十一年に亘り、蓼派の小唄を継承してまいりました。また、蓼派会は昭和五十二年に発足し、一昨年までに、三回の記念の会を開催し、昨年六月には初代家元六十年忌追善演奏会を開催したところでございます。この度、蓼派会としては初めて、秋に定期演奏会を開催する運びとなりました。これも偏に、蓼派の小唄を愛し、ご支援を戴いております皆様方のご指導、ご鞭撻の賜物と厚く御礼申し上げます。

蓼派の小唄をより多くの方々に楽しんでもいただけますよう、蓼派会一同、尚一層の精進を重ねて参ります。最後までごゆっくりとご鑑賞下さいませよう、心よりお願い申し上げます。

平成三十年十一月十八日

蓼派会会長

蓼 胡満佳
役員一同

唄

唄

糸

御祝儀

蓼の花

○

邦直 胡博雄 凉久美 胡凉三 胡凉三 是留菜 是留吉 鈴緒音 胡志枝 胡満佳世 鈴美緒 胡鳥弓 是留兆 是留悠 胡凉英 凉惠 茂毬代

○

初英 まさ八重 胡葉和 実咲 実生 加津柳 輝光しず 胡文ひろ 延は留 満ゆ佳 胡満里 胡政吉 千代のり 升希和 初奈 邦美

○

替 胡鈴子
替 鈴緒
競文芳
史菫舟
胡文雄
房まさ邦
房香
初野
実風

蓼の寿

○

競	静	升	胡	広	競	満	胡	津	胡	胡	房	葉	胡	穂	胡	競	鈴
照	・	緋	一	湖				留	可	与	多	留	よ	乃	一	子	唄
文	竜	奈	舟	章	鳥	葉	薙	若	朋	麻	恵	幾	若	香	永	三	正

○

美	輝	競	房	胡	佳	茂	胡	津	胡	津	胡	胡	胡	胡	胡	胡	時	富
よ		静	ま	競	ほ	喜	満	留	満	留	稚	政	葉	満	葉	あ	莚	唄
吉	光	文	さ	静	る	代	利	染	和	加	淑	清	祇	絹	助	音	や	子

○

は	胡	競	津	胡	胡	競	競	茂	満	史	胡
留	満	佳	千	満	満	雪	和	和	ま		
乃	乃	代	代	代	加	野	文	香	沙	由	宏

曲目

唄

糸

糸

5	4	3	2	1	
哀	今	影	残	桜	あ
	日		指	の	の
	も		を	つ	ぼ
	又		切	ば	み
			ら	み	花
			せ	み	花
			て	み	花
			月	み	花

調

初

奈

初

野

胡

葉

和

レ

史胡

ま葉

由菊

初

松

風

初

野

邦

直

房

邦

茂

毬

代

茂

和

香

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
深山りんどう	博多流し	浮き沈み	浜町河岸	中洲の思い出	箱根八里	の散るはうき びあがり	しぐれ茶屋	雀虫のの 子音	未練酒
涼久美	胡鳥弓	千代のり	輝光しず	は留吉	胡涼英	蝶弥	初英	まさ八重	邦美
満沙	上競競 文芳代	津留千代	ヾ胡鈴 鈴子緒	上は胡 留乃宏	満沙	胡里	初野	房まさ香	替 菫房 舟邦

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
甘曲 い独 辛楽 い	佃 の 渡 し	夜お ちこ ち	味み よし 野	裏書 のき せ送 どやる	中逢 洲う のは 別れ	軒河 つ太 ば郎 め	いこ ぎぼ さら ば露	山中 しぐ れ	吉三 節分

胡 政 吉	加 津 柳	胡 博 雄	鈴 美 緒	胡 満 里	鈴 緒 音	胡 涼 三	胡 満 佳 世	涼 恵	は 留 兆
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------------	--------	-------------

競 雪 野	ッ 鈴胡 鈴子 緒	替 史胡 ま文 由雄	鈴 緒	胡 満 佳 乃	替 胡鈴 鈴子 緒	満 沙	胡 満 佳 乃	満 沙	胡 宏
-------------	--------------------	---------------------	--------	------------------	--------------------	--------	------------------	--------	--------

35	34	33	32	31	30	29	28	27	26
時 の 氏 神	又引 の 御 見	引可 け愛 はい は我が 九が つ子	お そ の	蟬 し ぐ れ	お 軽	青柳 の 糸 より	別 れ 雁	男い がざ さ うさら ば	矢 ひよ んな 事 から 車
升 緋 奈	鈴 子 正	胡 志 枝	実 生	は 留 悠	実 咲	満 ゆ 佳	升 希 和	は 留 菜	胡 文 ひろ
津 留 浅 よ	替 鈴胡 鈴 緒子	胡 文 雄	実史 風実	替 は胡 留 乃宏	ッ 実史 風実	上 満胡 満千 沙加	ッ 史津 留浅 実よ	は 留 乃	胡 文 雄

45	44	43	42	41	40	39	38	37	36
満 月 や	黒 木 売	夜や更けてまこと ぶらりっ と	宵 宮	お 月 さ ん	お ぼ こ	箕 輪 心 中	無 理 な の を	可 主 愛 お 方 と	秋 の 風
胡 葉 祗	胡 満 絹	胡 葉 助	穂 乃 香	美 よ 吉	静 竜	葉 留 幾	競 照 文	茂 喜 代	胡 葉 音
胡 葉 菊	胡 満 和 代	史 ま 由	史 実 風 実	津 留 浅 よ	競 代	上 史 津 留 浅 よ 実	上 競 競 文 芳 文	茂 和 香	史 胡 ま 葉 由 菊

55	54	53	52	51	50	49	48	47	46
辰巳の左褻	放浪記	一夜流れ	涼廻しり げ灯籠 に籠	麗ら日	う酔 らむぞ えめ	若紫	芝浜	梅忠	ほたる茶屋
佳ほる	競三	胡淑	時あや	胡一永	富花子	胡政清	輝光	満葉	競静文
胡満時代	競雪野	茂和香	胡満時代	胡宏	花舟	競雪野	之茂鈴 和香緒	胡満千加	替競競 文芳文

65	64	63	62	61	60	59	58	57	56
博多みれん	日吉さん	仲町育ち	今日一日を	獅子頭	冬の夜	上げ汐	雪の信濃川 二日酔い	雨やどり 夕やけり	菊重 時雨してね
胡一舟	延は留	津留若	胡満和	胡与麻	広章	胡薙	胡競静	胡満利	房まさ
史津留浅 実よ	胡宏	胡文雄	史胡満千加 胡満和代	史胡文雄 ま由	競雪野	胡宏	競文	替満胡満千加 沙加	房まさ香

75	74	73	72	71	70	69	68	67	66
定九郎	逢うて別れて	色気ないとして 永い浮世	卯の花	白菊	春浅き	船の船頭衆 つれてのかんせ	落人の色香 ちよいと出るにも	未練	木枯しの にわか雨
胡治	胡茂	胡伊葉	胡菜三	胡よ若	房多恵	津留稚加	津留染	競湖鳥	胡可朋
競雪野	史ま由	胡文雄	競雪野	史実	替鈴胡 鈴子	胡文雄	茂和香	競代	胡宏

76 薄雲太夫
晩に忍ばば

津留葉

替史胡
実宏

77 かの人の月
半

胡満佳

胡満千加

手
メ

終演六時三十分頃予定

〒180-0021

武蔵野市桜堤一―一―三―三〇二

武藤方

蓼派会事務局

蓼蝶弥

電話 〇四二二(五三)三二二三
E-mail : info@tadeha.jp
URL http://www.tadeha.jp/